



(公立学校教員の皆様へ)

# 研究参加へのご協力お願い

## 幼少期の被養育経験と成人後のメンタルヘルスの関連性の検討

ストレスへの抵抗力は人によって違いがあり、特に幼少期の親からの被養育経験が成人後の自己肯定感やメンタルヘルスに与える影響は大きいと言われています。本研究は、教員の皆さんの幼少期の被養育経験が、現在の抑うつや性格傾向、自尊感情等にどの程度関連性があるかを調べるWebアンケート研究です(アンケート回答に要する時間は20~30分程度です)。研究にご参加しアンケートに回答頂いた方には、**謝礼としてAmazonギフト券600円を進呈致します**。参加ご協力の程宜しくお願い致します。

※お使いの端末(スマートフォン・PC等)を使ってすべてオンライン上で行えます。  
※研究ご参加・アンケートご回答はお一人様1回までです(複数回のご回答はできません)。  
※ご回答頂いた方の中から一定の条件を満たしている方に対して、介入研究「交流分析的心理療法オンラインセルフワークプログラム」へのご参加をお願いする場合がございます。(介入研究へのご参加は自由です。ご参加された方には別途謝礼進呈致します)

**【対象となる方】 公立学校にお勤めの教員の方**

### ご参加方法

下記研究紹介ページのQRコードを読み取っていただくか、「東海中央病院メンタルヘルスセンター」ホームページのいずれかから申し込みいただけます。

研究内容紹介ページのQRコード



東海中央病院メンタルヘルス

検索



“メンタルヘルス研究事業”の箇所をクリック

研究責任者：東海中央病院 心療内科部長 坪野 賢二郎